

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月15日更新

事務事業名		合志市情報化基本計画進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	山口 直美
	施策の柱	6	情報化の推進			所属班	デジタル化推進班	(内線)	1263
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年5月策定の「合志市情報化基本計画」に基づく各種事業の進行管理を行う。合志市総合計画と連動し、計画期間を8年間としており、4年ごとに見直しを行っている。平成23年度に第1次基本構想第2期基本計画により一部見直しを行ない、平成27年度に第2次基本構想第1期基本計画、令和元年度に第2次基本構想第2期計画に基づく改訂版を策定した。
【業務の流れ】	庁内ネットワーク推進委員会で各種事業の進行を確認する。
【主な予算費目】	予算費目なし
【意見や要望】	令和3年6月に合志市デジタルトランスフォーメーション推進指針を策定しているため、類似的な計画になっていないか精査が必要。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動)	4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
第2期実施計画(改訂版)に基づいた運用管理を行う		情報化基本計画(改訂版)見直しに基づいた運用管理 庁内ネットワーク推進委員会
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 計画策定のための協議回数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
情報化の対象となる事業		→ ア: 事業数 本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
計画を見直し、新たに進行管理を行なう。		→ ア: 改訂検討会の出席者のべ人数 人
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
より多くの人員で検討することにより、時代に合った情報化の検討を行なう。 第2期計画(平成27年度策定)以降は進行管理になるので、庁内ネットワーク推進委員会の中で、議論を行なう。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込
① 活動指標	ア	回	0	0	2	0	5	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	本	82	82	82	84	84	84	84	84
	イ									
③ 成果指標	ア	人	0	0	56	0	56	56	56	56
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	6	2	4	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	6	12	30	8	30	30	30	0
	(B)人件費計	千円	23	46	119	30	119	119	119	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	23	46	119	30	119	119	119	0

事務事業名	合志市情報化基本計画進行管理事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルスの影響により改訂会議を開催できなかった。また、令和2年12月に自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画が策定されたことにより、地方自治体においても、情報化基本計画から自治体DX推進計画へ計画を移行する時期となるため、検討が必要。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今後も庁内ネットワーク推進委員会等において、計画につき各課と議論を行い、計画の見直しを行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 急速に変化する情報化に対応するため、庁内ネットワーク推進委員会等で議論を重ねる必要があるが、基本計画の進捗管理については成果の向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在事業費がないため、削減の余地なし。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 毎年進捗状況を把握し、見直しを検討するため、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 情報化基本計画については、全市民対象として公平にサービスを受けてもらうために策定した計画となっているので、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成20年度当初計画策定時には、策定委員を公募し計画を策定した。その後、総合計画との相違部分を整理し、計画中の実施プログラムの進捗状況、今後の課題を追記し、整理した。毎年度、進行管理しながら必要に応じ改訂を行う。

3 評価結果の総括 (CHECK)

改訂に沿って各課の実施内容を精査し、庁内ネットワーク推進委員会にて、必要に応じ見直しを行う。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						